

令和5年度神奈川総合産業高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

○課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 (公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む)	公務員、特に教職公務員としての信用失墜行為を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故・不祥事防止会議を定期的に行い、教育公務員としての自覚と倫理意識を持って行動するように、職員の意識の向上を図る。 ○ 職員相互及び管理職とのコミュニケーションを大事にして、健康で明るく元気な風通しのよい職場づくりを推進する。 <p>【達成状況】全職員で取り組み、良好である。</p>
わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為について意識を高め、未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故・不祥事防止会議を定期的に行い、わいせつ・セクハラ行為の防止を徹底する。 ○ 事故・不祥事防止会議を定期的に行い、携帯電話・スマートフォンや電子メール等の適切な使用を徹底する。 <p>【達成状況】全職員で取り組み、良好である。</p>
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故・不祥事防止会議を定期的に行い、体罰・不適切な指導の防止を徹底する。 ○ 生徒の人権を尊重した適切な指導が行えるように、教員間や部活動インストラクター等との連携と情報交換を密に実施する。 <p>【達成状況】全職員で取り組み、良好である。</p>
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	定期試験、成績処理、調査書等の文書作成での事故を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故・不祥事防止会議を定期的に行い、成績処理及び進路関係書類の適切な作成及び取り扱いを徹底する。 ○ 成績処理業務、試験問題作成、調査書及び各種証明書発行手続き等に関するマニュアルを整備し、マニュアルに基づく業務遂行の徹底を図る。また、点検については、複数の担当により慎重かつ正確な点検を実施する。 <p>【達成状況】書類上不備が発見されることがあり、点検体制の強化が必要である。</p>
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の流失や誤廃棄を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故・不祥事防止会議を定期的に行い、個人情報の管理、情報セキュリティ対策に関する適切な作成及び取り扱いを徹底する。 ○ 4月と3月に教職員の個人情報登録状況の確認を行うとともに、個人情報の持ち出し・返却や廃棄の際の手続きの徹底を図る。 <p>【達成状況】全職員で取り組み、良好である。</p>
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故や酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故・不祥事防止会議を定期的に行い、交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守を徹底する。 ○ 交通法規の遵守と交通事故防止について、各種会議や打合せ等の機会を活用して、啓発資料を配付するなどして、意識啓発に努める。 <p>【達成状況】全職員で取り組み、良好である。</p>

業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	不適切な業務執行を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故・不祥事防止会議を定期的開催し、業務執行体制の確保等を徹底する。 ○ 業務遂行にあたっては、グループや年次内で情報の共有を図り、構成メンバーが相互に点検・確認をするなど、業務が一人に偏ることのないように協力体制をとりながら業務を遂行する。 <p>【達成状況】全職員で取り組み、良好である。</p>
会計事務等の適正執行	適正な私費徴収・執行を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故・不祥事防止会議を定期的開催し、私費会計に関する適正な処理を徹底する。 ○ 私費会計担当者は、私費会計基準に基づき、会計業務を行うとともに、グループや年次内の構成メンバーにより複数の目で点検・確認を実施し、事故防止に努める。 <p>【達成状況】私費会計監査において、指摘があった。努力を要する。</p>
入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜業務に係る事故不祥事の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入学者選抜に係る事故・不祥事防止会議を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の向上を図る。 ○ 県教育委員会の指示を仰ぎながら、入学者選抜に係るマニュアル及び点検体制を整備するとともに、職員対象の研修会を実施し、職員全体の共通理解のもとに入学者選抜に臨む。 <p>【達成状況】全日制において重大なヒヤリ・ハット事案が生じた。校内的には事故として扱うとともに、早急な業務改善を要する。</p>

○令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題

（校長意見）

日ごろから国や県の動向を全職員へ周知するとともに、事故・不祥事について、職員打合せや各種会議で情報提供と注意喚起を促してきた。また、月に1度以上、教育委員会不祥事防止職員啓発資料等を活用し、校内の事故・不祥事防止会議や企画会議、グループ会議で意見交換、情報共有することで、事故・不祥事防止に努めてきた。

しかしながら、今年度の全日制入学者選抜に係る業務において、重大なヒヤリ・ハット事案を生じさせてしまった。このことを学校として事故と位置付け、本校の教訓として記憶と記録に残し、事故を生じさせないという強い意思のもと、事故・不祥事を未然に防止できる体制を整えることが急務であると考えている。

再発防止のためには、全職員によるチームとしての取組が不可欠である。一つの事故は、今まで積み上げてきた堅実で確実な業務遂行による信用・信頼を、一瞬で破壊してしまうことを職員の共通認識とし事故・不祥事防止への意識を高めたい。

校長として、職員の意思統一をはかり、風通しのよい職場づくりに努め、指導・監督の責務を果たし、事故を生じさせないよう強く心に誓うものである。